

新型コロナウイルスの苦境
行政・議会・市民が
一緒に乗り越えてきた

小泉市長…新型コロナウイルスの市内感染については、非常に厳しい時期がありました。その修羅場を市民の皆様と乗り越えて、5月から新型コロナワクチン接種をスタートさせました。行政としては、「誰ひとり取り残さない」という信念のもと、日時指定で郊外の方には送迎バスを用意し、集団接種を進めました。

清水議長…小諸市のワクチン接種は、市民の皆様からの評判が良く、市外からも「小諸方式」という名前で認められています。議会としても、関連する予算を精査したうえで承認してきましたので、集団免疫獲得という一定の成果をあげている状況を、評価しています。

小泉市長…11月には、希望される全ての方の接種が終わり、市全体で非常に高い接種率となりました。9月17日以降、市内の新規陽性者は発生していません。(12月15日現在)

小諸市の
ワクチン接種 進捗状況
【R3/12/13 日現在】

	1回目 接種率	2回目 接種率
12歳以上	92.1%	91.0%
65歳以上	95.3%	94.8%

※12歳以上対象者数 37,224人、65歳以上対象者数 13,622人として算出。

清水議長…コロナ対策については、担当部署だけでなく、全庁が一体となって取り組んでいます。ワクチン接種事業を何よりも優先してもらうために、議会としても一般質問の時間短縮を行いました。

小泉市長…感染症対策は、議会はもちろんのこと、医療業界・産業界・市民の皆様との協力なしには成り立ちません。今後とも、よろしくお願いいたします。

観光業をはじめ、小諸に
活気が戻ってきている

清水議長…先日、NHKの朝のニュース番組で、小諸城址懐古園の来場者数が非常に増えていること、その要因として、こもろ観光局の情報戦略が特集されていました。様々なメディアを

小諸市長
小泉俊博

使ったPRの重要性を改めて、実感しました。

小泉市長…懐古園は、紅葉まつり期間中の来場者数がここ10年で一番となりました。コロナ禍においても歩みを止めることなく、そのなかでできることを考え、実行してきた結果でしょう。加えて、ターゲットをしっかりと見定めた戦略が、今回のこもろ観光局の取り組み成功の要因だと思います。

複合型中心拠点誘導施設「こもテラス」も8月に公共施設棟が、10月には商業施設棟がオープンし、市街地での新たなひとの流れが生まれています。とはいえ、秋口からの盛り上がりは、

市民の皆様によるものが大きいと思っています。市街地を中心にした新規出店や、「まちタネ広場」での週末のイベント開催など、明るい話題も非常に多くなってきましたよね。

清水議長…その通りですね。この流れを継続するため「こもテラス」の更なる活用促進が必要です。郊外からの公共交通の利便性向上について、行政にはこれまで以上に取り組んでいただきたいです。

小諸市役所と小諸市議会
それぞれの立場から

小泉市長…コロナ禍において、「職員一丸となってワクチン接種事業を実施できたこと」、この経験を次に活かすことが行政として大切です。「市民のため」「市の発展のため」と、同じ方向を見据えて今年も取り組んでいきます。

昨年は、「企業版ふるさと納税」という形で、民間企業から小諸市へ、大きな応援もいただきました。また、市街・郊外を問わず、新たな企業や店舗進出

の話も耳にしています。

明らかに、小諸に対する人々の見方が変わってきているからこそ、民間のノウハウ・人材・資金を活用させてもらい、市の発展につなげていきます。

清水議長…議会としては、「議会に関心をもってもらうこと」また「開かれた議会」を目指し、まずは「子ども議会の開催」「各種団体との意見交換会の復活」に取り組めます。皆様の考え方とともに、身近な存在であるように努めます。

また、「サステナブル」持続

市民の皆様へメッセージ

可能であること」を求められる昨今のなかで、議会の運営改革にも取り組めます。その一つとして、昨年導入したタブレット端末を更に有効活用し、議案等のペーパーレス化を、行政と協議していきます。

小泉市長…現在、市のビジョンとして「健康都市こもろ（小諸版ウエルネスシティ）」を掲げています。これは、日本の人口が減少していくなかで、移住などのひとの流入によって、小諸市の人口減少を食い止めたいという想いがあつたからです。

人口の動きを見ると、昨年はありがたいことに、転入者数から転出者数を引いた数が50名程度（10月末時点）となりました。これは「小諸に住み続けたい」「小諸に移り住みたい」人が増えていることの証拠です。この流れを更に推し進めるために、皆様には「小諸市を知り、愛し、行動してほしい」と思います。

私たち行政とともに、一緒に小諸を盛り上げてください！

小諸市人口 社会増減グラフ



清水議長…2023年には議員選挙が控えており、今年は締めくくりの年となります。そのなかで、「議会ってどんなところなんだろう」と関心を持ってもらえるよう、様々な情報発信と意見交換を行います。

次世代を育てしっかりと引き継いでいくために、議会としてやり残しが無いよう取り組んでまいります。皆様のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。



新年明けましておめでとうございます。
本年が皆様にとりまして
健やかで希望に満ち
実り多き年になりますよう
ご祈念申し上げます。

新春対談

